

九州地区の7年11月住宅着工戸数

前年同月比10.3%減の6,252戸、長崎県は23.9%増

国土交通省がまとめた令和7年11月の住宅着工統計によると、九州地区の住宅着工戸数は前年同月比10.3%減の6,252戸で、床面積は同6.5%減となっている。県別の住宅着工戸数は前年同月比で福岡県が1.4%減、佐賀県が15.5%減、長崎県が23.9%増、熊本県が36.9%減、大分県が13.2%減、宮崎県が23.3%減、鹿児島県が12%増となっている。

新設住宅着工戸数(令和7年11月、令和6年11月)

都道府県	戸数・件数(戸・件)			床面積の合計(m ²)		
	令和7年11月	令和6年11月	前年対比(%)	令和7年11月	令和6年11月	前年対比(%)
福岡	2,925	2,968	98.6	224,581	221,965	101.2
佐賀	365	432	84.5	33,965	38,343	88.6
長崎	466	376	123.9	38,729	31,854	121.6
熊本	1,004	1,592	63.1	77,440	106,901	72.4
大分	520	599	86.8	37,315	50,430	74.0
宮崎	335	437	76.7	30,886	40,536	76.2
鹿児島	637	569	112.0	59,913	47,486	126.2
九州地区計	6,252	6,973	89.7	502,829	537,515	93.5
沖縄	875	766	114.2	69,883	55,453	126.0
山口	490	546	89.7	42,546	50,334	84.5
全国計	59,524	65,052	91.5	4,672,852	5,106,012	91.5